

Leading center for the development and research of cancer medicine

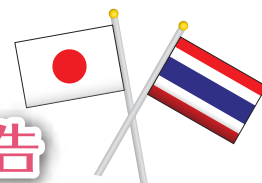
ニュースレター

国際共同研究



肺がん国際共同研究 Kick-off Meeting 報告

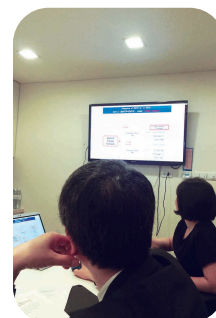
Division of Medical Oncology, Ramathibodi Hospital, Mahidol University



順天堂大学 医学研究科 呼吸器内科学
先導的がん医療開発研究センター

教授 高橋 和久
助教 今井 美沙

平成28年3月23日、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランにおける国際共同研究を推進するため肺がん国際研究シンポジウムに登壇いただいた Thanyanan Reungwetwattana 先生が所属されている Division of Medical Oncology, Ramathibodi Hospital, Mahidol University, Thailand を訪問し、共同研究および人材交流を含めた今後の国際交流の方向性について話し合いを行いました。



ミーティングは Medical Oncology Unit にて行われ、日本側のプロトコルコンセプト「日本とタイにおける EGFR 遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌患者の治療実態に関する観察研究」の説明、Ramathibodi Hospital Oncology team からの質疑応答に引き続き、プロトコルコンセプトについての意見交換が行われました。その結果、日本側のプロトコルコンセプトをもとに Ramathibodi Hospital Oncology team 内での話し合いが行われ、平成28年5月頃にタイと順天堂大学・岩手医科大学・島根大学・鳥取大学を結んだTV会議を行い、議論を深める予定となりました。ミーティングの最後には国際交流に関する話し合いも行われ、人的交流も含め、

Division of Medical Oncology, Mahidol University とさらなる交流を行っていくことを約束いたしました。



Medical Oncology Unitにて記念撮影

Dr. Ekaphop Sirachainan (Na先生の上司の先生) & Dr.Thanyanan Reungwetwattana





平成28年度

臨床研究研修会(合宿)報告 2/27(土)～28(日) at 順天堂大学

順天堂大学 医学研究科 乳腺・内分泌外科学
教授 齊藤 光江

2016年2月27・28日と通算で9回目のがんプロ臨床研究合宿が開催された。多職種広域エリア(岩手、鳥取、島根、東京、医学部、薬学部、看護学部、理工学部(統計学・物理学))から、総勢70名ほどの参加者があり、研修生もチューターも4つのグループに分かれて、今回のテーマである①抗癌治療の副作用データベースを構築する、②医療者の地域偏在を解消する、のいずれかをグループごとに話し合っ



て選択してもらい、二日目の朝からのプレゼンテーションに備えるという実習を行った。全てのグループワークが大きな一つの教室で行われるとはいえ、グループ間交流は食事のときくらいであり、他はグループ内で活発な議論を展開、結局①：②が2：2と取り組む課題がいいあंबいにばらけ、しかもその後のグループワークで、見事にそれぞれが異なる方向に結論と将来展望を導き出した。グループダイナミックスの面白さである。全チューターも繰り返し集まっては、現状報告と問題点共有、そして介入のし方をディスカッションで決めていくというこの合宿伝統の流儀で、老若男女、経験者・初体験者の別を問わず、組織の不思議な力学に翻弄されたり抗ったりしながら、全ての参加者がどこかでリーダーシップを発揮し、コミュニケーションスキルを高め、evidence based medicineを意識し、医療のエンドユーザーである患者を中心に考えるというチーム医療の4つの大切なエッセンスを身をもって学ぶ機会となった。そして最後は達成感で実により笑顔。若者たちがここでの学びで社会を動かしていく日を楽しみにしている。



▲ 順天堂大学センチュリータワーにて開催しました

立教小学校 がん教育授業について

3/15
(火)

立教大学 理学研究科物理学専攻

特任准教授 洞口 拓磨

立教大学では、去る3月15日立教小学校において「親子で学ぶがん教育」と題したがん教育授業を、順天堂大学樋野興夫教授を講師としてお招きし、開催致しました。

わが国では国民の2人に1人はがんに罹患し、3人に1人はがんで亡くなる現状において、がん対策推進基本計画の中でも、がんの教育・普及啓発が喫緊の目標として掲げられています。また、我々が取り組むがんプロフェッショナル養成基盤推進プランにおいても、社会に対する「開かれたがんプロ」の一環として、がん教育は非常に重要な位置づけにあります。

本学では、立教学院内に小学校及び中高一貫校二校を要し、がん教育授業へ向けての実施環境に恵まれていたこと、更にはがんプロ連携校内での取り組みの中でがん教育に対する実施基盤が整いつつあったことが後押しとなり、本学院内での提案を経て、まずは小学校での授業実施に至りました。

立教小学校では、全国的にも先進的な保健体育教育への取り組みを行っており、今回の授業を実施するにあたり、「“がん”を通して“命の大切さ”を子どもたちに伝えて欲しい」とのメッセージを頂きました。授業は、タイトルの通り保護者参観の形で5年生3クラスを対象に、同じ内容を1クラスずつ計3回行いました。この授業で特筆すべきことは、樋野先生の素晴らしい講義もさることながら、小学生の純粋で聡明な理解力と、日中にも拘わらず授業に駆けつけてくださった熱心な保護者の方々の多さでした。そのことは、授業後に拝見した紙面をびっしりと埋められた小学生達の授業メモと、保護者アンケートの中の感謝の言葉に滲み出ていたことは言うまでもありません。今回のがん教育の提案・開催を通して、逆にがん教育への関心の高さと重要性を改めて認識させられた次第です。

今回、講師を引き受けて頂いた樋野興夫教授に改めて感謝申し上げます。また、ご協力頂きました順天堂大学先導的がん医療開発研究センター及び立教小学校の教員の皆様方には心より御礼申し上げますとともに、今後の私たちの活動にもご興味、参画頂けますようお願い申し上げます。





情報 コーナー

報告

下記のとおり大盛況のうちに終了いたしました。ありがとうございました。

- **立教小学校がん教育授業(立教小学校)**
講師：順天堂大学大学院医学研究科 樋野 興夫 教授 2016年3月15日(火) 4・5・6校時
- **セミナー(島根大学)「出雲肺がんセミナー」**
講師：島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 磯部 威 教授 2016年3月16日(水) 19:00～20:15
- **セミナー(島根大学)「副作用とその対策②-吐き気・脱毛など-、海外医療機関研修報告」**
話し手：島根大学医学部内科学講座 呼吸器・臨床腫瘍学 磯部 威 教授 2016年4月28日(木) 18:30～19:30
- **セミナー(鳥取大学)「鳥取大学医学部附属病院がんセミナー」**
演者：鳥取大学医学部附属病院 がんセンター 大山 賢治 先生 他 2016年4月28日(木) 18:15～20:00
- **セミナー「本邦における臨床研究の現状と展望」**
講師：東北大学病院臨床研究推進センター特任教授・東北医科薬科大学医学部 産婦人科教室 渡部 洋 教授
2016年5月17日(火) 18:00～19:00
- **セミナー(島根大学)「放射線治療の最新事情」**
話し手：島根大学医学部 放射線腫瘍学 猪俣 泰典 教授 2016年5月19日(木) 18:30～19:30
- **連携ICT特別講義(明治薬科大学)「Hematology / Oncology Clinical Pharmacy Practice in the USA」**
講師：Meagan Spencer Barbee, PharmD 2016年6月1日(水) 18:30～20:00 ICT接続により連携大学に配信
- **セミナー(鳥取大学)「鳥取大学医学部附属病院がんセミナー」**
演者：鳥取大学医学部附属病院 第一外科 齋藤 博昭 先生 他 2016年6月2日(木) 18:15～20:00
- **がんプロ研究シンポジウム(立教大学)「医学・理学・薬学連携で繋ぐがん医療研究の推進を目指して」**
講師：明治薬科大学薬学部 庄司 優 教授 他 2016年6月11日(土) 13:00～16:20 ICT接続により連携大学に配信

今後のスケジュール

詳細はHPに随時掲載します

- **がんプロ国際シンポジウム(順天堂大学)**
「がん分野におけるゲノム医療実現に向けた取り組み～クリニカルシーケンスがもたらすがん医療の将来像と問題点～」
演者：Chair in Molecular Oncology, Memorial Sloan-Kettering Cancer Center Marc Ladanyi, M.D.
2016年7月15日(金) 17:00～19:00 順天堂大学センチュリータワー北405教室 ICT接続により連携大学に配信
- **セミナー(順天堂大学) 高校生セミナー「顕微鏡の世界-正常細胞とがん細胞の違い-」**
講師：順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 佐伯 晴美 助教 他
2016年7月16日(土) 9:30～16:00 順天堂大学センチュリータワー地下1階 形態系実習室
- **ICT特別講義(鳥取大学)**
講師：Dr. Maria Zajac-Kaye, Associate Professor, Department of Anatomy and Cell Biology College of Medicine, University of Florida 他
2016年7月20日(水) 16:00～18:00 鳥取大学医学部附属病院2Fがんセンターキャンサーボード ICT接続により連携大学に配信
- **セミナー(島根大学)「緩和ケアとは？」**
話し手：島根大学医学部 緩和ケア講座 中谷 俊彦 教授
2016年7月21日(木) 18:30～19:30 島根大学医学部医学部附属病院外来中央診療棟3階 だんだん
- **がんプロ研究シンポジウム(東京理科大学)「がん治療における標的探索から臨床まで」**
講師：東京理科大学 薬学部 秋本 和憲 准教授 他
2016年7月30日(土) 13:30～17:00 東京理科大学葛飾キャンパス図書館ホール

編集後記

『南原繁シンポジウム～南原繁先生に学ぶ～』(主催：南原繁研究会、大中三高会 共催：東かがわ市、東かがわ市教育委員会 後援：赤澤記念財団、香川県、香川県教育委員会、四国新聞社)に赴いた。会場は、満員であった。筆者は、『今ふたたび南原繁～よき師・よき友・よく読書～』を語った。順天堂大学 保健看護学部(三島キャンパス)での学生の講義『がん病理学』の機会が与えられた。質問および、授業後の全員のレポートを拝読して、真摯な感想文には、大いに感動した。まさに、『教育とは、すべてのものを、忘れたあとに、のこるもの』(南原繁)の言葉が明確に甦った。アメリカで流行している『Facebook症候群』は、やがて日本国でも蔓延することであろう。「その予防・治療の発症前」の対策が、『がん教育の真髄』となる時代的予感がする。

恵泉女学園(新渡戸稲造を師とする河井道 創立)の高校生の授業『がん教育』の機会が与えられた。『武士道：第14章 婦人の教育および地位』(新渡戸稲造 著・矢内原忠雄 訳)は、まさに、「差異と不平等との区別」の重要な学びの時であった。

編集長・広報委員長 樋野 興夫

順天堂大学先導的がん医療開発研究センター 順天堂大学がん生涯教育センター

〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 <http://ganpro-ict-plan.jp/index.html>

編集 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 広報委員会

発行 順天堂大学大学院がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン